

2022年12月19日
飯田グループホールディングス株式会社

CDPの気候変動に関する調査において「B」スコアを取得

飯田グループホールディングス株式会社（本社：東京都武蔵野市／代表取締役社長：兼井雅史）は、2022年に実施された気候変動情報開示に対する活動を評価するCDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）気候変動プログラムにおいて、「B」スコアを取得いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、「より多くの人々が幸せに暮らせる住環境を創造し、豊かな社会作りに貢献する」というグループ経営理念に基づきサステナビリティ経営を実践してまいりました。

「誰もがあたり前に家を持てる社会の実現」というコンセプトに基づき、安全・快適・健康に暮らせる住環境をお客様に提供しております。この「誰もがあたり前に」というコンセプトは、サステナブルな社会を実現する上でも極めて重要であると考え、環境性能の高い商品・サービスを誰もがあたり前に手に入れられるよう、環境対策に必要なコスト負担と、誰もが享受できる値ごろ感の両立を目指しております。

さらに、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を公表し、グループ全体でサステナビリティ経営を前進させております。

今年度、当社グループは「CDP 気候変動質問書」について初めて回答し、その結果、「B」スコアを取得いたしました。

CDPの環境情報開示は、企業の環境報告のグローバルスタンダードとして広く認知されており、2022年は過去最高の約18,700社の企業がこれに回答しております。

今後も、当社グループは住宅業界のリーディングカンパニーとして、持続的成長と社会貢献で企業価値の向上に努め、CDP や TCFD 等のフレームワークに沿った情報開示を段階的に促進してまいります。

（「温暖化ガス削減に向けた具体的目標の設定と削減策の実施プラン化」、「Scope3 の現状把握と削減目標の検討」、「ESG データの開示促進」等）



<CDP について>

CDP は、ロンドンに本部を置く国際的な非政府組織で、世界の主要企業の温室効果ガスの排出量や、気候変動がもたらすリスク・機会など気候変動に関する調査を行い、その回答内容をもとに企業の取り組みを「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」の8段階で評価しています。

- 関連資料：飯田グループホールディングスのサステナビリティに関する取り組み
「サステナビリティ基本方針の制定及び、サステナビリティ推進委員会に関するお知らせ」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3291/tdnet/2056929/00.pdf>

- 本件に関するお問い合わせ先
飯田グループホールディングス株式会社 広報・IR 室
TEL: 0422-38-8828
E-Mail: esg@ighd.co.jp

以上